

令和4年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 長崎純心大学 実施報告書



実施主体 長崎純心大学 地域包括支援学科

実施内容 児童虐待防止啓発ポスターの作成と学園祭での提示

### ①事前に取り組んだ内容

児童虐待の現状に関する学習 児童虐待に関する映像学習

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

授業において児童虐待の現状を学び、オレンジリボン運動の起源や発足に込められた思いに関する学習を行った。また、グループに分かれて児童虐待防止を啓発することをテーマとしたポスターを作成し、学園祭にて展示をした。ポスター作成に際しては、ポスターに込めた思いをグループごとにレポートにまとめた。

### ③オレンジリボン運動を終えて…

学生がポスターに込めた思い

- ・児童虐待は目に見えないところで起こっています。私達はそのような子ども達の心に焦点を当ててポスターを作成しました。子ども達の傷ついた心を温かなオレンジリボンで助けよう、という思いを込めています。
- ・虐待をなくしたいという思いと、もし虐待を見かけたり、悩んだりしている人がいたら、すぐに相談をして欲しいという気持ちを込めて、このポスターを描きました。
- ・すべての子どもが分け隔てられることなく健やかな成長を発展できる社会の実現を目指す活動を児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンを持つ手に見立て、子どもを包み込む様子を表現しました。
- ・オレンジリボン運動は、「こども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動という意義のため、虐待されている子どもの明日の笑顔を守っていきたいという思いで、「まもる、つなぐ、あしたのえがお」をこのポスターのタイトルにしました。



完成したポスターと学園祭での展示

